

2025 年度 授業計画(シラバス)

学 科	言語聴覚士学科昼夜間部		科 目 区 分	専門基礎分野	授業の方法	講義
科 目 名	リハビリテーション医学		必修/選択の別	必修	授業時数(単位数)	15 (1) 時間(単位)
対 象 学 年	1年生		学期及び曜時限	後期 6,7時限他	教室名	401
担 当 教 員	小坂将史	実務経験とその関連資格	社会医療法人弘道会内の病院や老人保健施設等にて、言語聴覚士としてリハビリテーション業務に従事していた。			
《授業科目における学習内容》						
リハビリテーション医学の内容を理解し、検査、評価、各種疾患のリハビリテーションや治療等、臨床に繋げる基礎知識を取得する。						
《成績評価の方法と基準》						
定期テスト100% (試験素点が60点以上を合格とする)						
《使用教材(教科書)及び参考図書》						
授業は資料を配布し、PCスライドで授業を行う、また適宜小テストを行う 参考図書: 言語聴覚士テキスト 第4版ー 医歯薬出版株式会社						
《授業外における学習方法》						
事後学習として、授業のまとめをしっかりと押さえたり、授業内で実施される確認問題を適宜見直したりして、知識の定着に努めて下さい。						
《履修に当たっての留意点》						
リハビリテーション医学は医療の基礎領域として、ほとんどの診療科と関わりを持つ科目です。 医療業界で働くための、基盤となる知識を身につけるという目的意識を持って、講義に臨んでもらえたらと思います。						
授業の方法		内 容			使用教材	授業以外での準備学習の具体的な内容
第1回	講義形式	授業を通じての到達目標	リハビリテーション医学の全体像を理解し、リハビリテーションの種類および、医療の概要(急性期、回復期、維持期)について説明できる		・PCスライド ・配布資料 ・確認問題	特になし
		各コマにおける授業予定	リハビリテーション医学(総論)について学ぶ			
第2回	講義形式	授業を通じての到達目標	神経学的評価の概要を理解し、ROMtest、MMT、Brunnstrom stageの概要について述べることができる		・PCスライド ・配布資料 ・確認問題	事前学習として、参考図書である、言語聴覚士テキストの「リハビリテーション医学」の該当項を一読しておく
		各コマにおける授業予定	リハビリテーション医学の診断と評価を理解する			
第3回	講義形式	授業を通じての到達目標	リハビリテーション医療に携わる主な専門職とその役割について説明できる		・PCスライド ・配布資料 ・確認問題	事前学習として、参考図書である、言語聴覚士テキストの「リハビリテーション医学」の該当項を一読しておく
		各コマにおける授業予定	リハビリテーション医学の治療(総論)について学ぶ			
第4回	講義形式	授業を通じての到達目標	脳血管障害・頭部外傷の様々な病型について説明できる		・PCスライド ・配布資料 ・確認問題	事前学習として、参考図書である、言語聴覚士テキストの「リハビリテーション医学」の該当項を一読しておく
		各コマにおける授業予定	脳血管障害・頭部外傷などについて学ぶ			
第5回	講義形式	授業を通じての到達目標	脳血管障害・頭部外傷のリハビリテーションの概要を述べることができる		・PCスライド ・配布資料 ・確認問題	事前学習として、参考図書である、言語聴覚士テキストの「リハビリテーション医学」の該当項を一読しておく
		各コマにおける授業予定	脳血管障害・頭部外傷のリハビリテーションについて学ぶ			

授業の方法		内 容		使用教材	授業以外での準備学習 の具体的な内容
第6回	講義形式	授業を通じての到達目標	神経筋疾患のリハビリテーションの概要を述べることができる	・PCスライド ・配布資料 ・確認問題	事前学習として、参考図書である、言語聴覚士テキストの「リハビリテーション医学」の該当項を一読しておく
		各コマにおける授業予定	神経筋疾患などについて学ぶ		
第7回	講義形式	授業を通じての到達目標	脊髄損傷、骨・関節疾患、呼吸器疾患のリハビリテーションの概要を述べることができる	・PCスライド ・配布資料 ・確認問題	事前学習として、参考図書である、言語聴覚士テキストの「リハビリテーション医学」の該当項を一読しておく
		各コマにおける授業予定	脊髄損傷や骨・関節疾患や呼吸器疾患などについて学ぶ		
第8回	講義形式	授業を通じての到達目標	リハビリテーション医学の重要項目について理解し、多様な側面から考察する力を身につける。	・PCスライド ・配布資料 ・確認問題	特になし
		各コマにおける授業予定	第1回～7回の講義ノートや配布資料をもとに授業内容を復習する。また、重要項目の知識の確認問題を実施する。		
第9回		授業を通じての到達目標			
		各コマにおける授業予定			
第10回		授業を通じての到達目標			
		各コマにおける授業予定			
第11回		授業を通じての到達目標			
		各コマにおける授業予定			
第12回		授業を通じての到達目標			
		各コマにおける授業予定			
第13回		授業を通じての到達目標			
		各コマにおける授業予定			
第14回		授業を通じての到達目標			
		各コマにおける授業予定			
第15回		授業を通じての到達目標			
		各コマにおける授業予定			